

事業名	離島漁業再生支援交付金事業	総事業費	27,906 千円
-----	---------------	------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	水産業の振興
	基本事業名	漁場環境整備

② 実施 (Do)

事業の意図		漁業集落の活性化について話し合い、様々な取組を行うことで、漁場の生産力向上や漁業就業者数の維持を図る。
事業の実績 と成果	取組内容	漁場の生産力向上として、ナガラメ稚貝放流活動・藻場の造成・ウニ駆除・漁場監視・イカ産卵礁投入、イカ柴投入を実施した。 漁業の再生に関する実践的な取組として捌き方教室・加工品加工販売・魚かご試験操業を実施した。 漁業の再生に関する話し合いで各漁業集落の取組や漁業の現状について協議が行われた。
	成 果	継続的な取組の実施により、漁場環境の改善について、創意工夫を生かした取組を実施できた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	事業の目的が漁業所得の向上に繋がる活動であるのに対し、活動を行うことが目的となってしまう。 漁業所得の向上及び漁業就業者が増えるような活動について事業実施者と協議しながら、取組んでいく必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	本事業は、販売・生産面で不利な状況にある離島地域において、離島漁業再生支援交付金を活用し、漁業集落において共同で漁業再生に取り組む事業を行うものである。令和4年度においては、漁場の生産力の向上に係る継続的な取り組みとして、ナガラメ稚貝放流活動・藻場の造成、管理・漁場監視・イカ産卵礁、イカ柴の投入、サメ駆除、を実施した。また、漁業の再生に関する実践的な取組においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、おさかな祭りが中止となったものの、魚の捌き方教室・加工品加工販売などを実施した。 令和2年度から第4期計画として取り組まれているが、活動を漁業所得向上にどうつなげていくかが課題であり、引き続き各集落の話し合いを通じて、効果的な取組に繋げたい。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	事業に参加する漁業者数の減少が増加してきている。各漁業集落でどのような取組を実施するのかについて検討し、事業を実施していく必要がある。 今年度から事務を漁業者が実施することになるので、間違えの内容に指導する。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	漁場の生産力向上に関する取組として、藻場回復に向けた試験培養の様子 その他にも ・ナガラメ放流活動 ・イカ柴投入活動 ・ウニ駆除活動 ・漁場監視活動 ・サメ駆除活動 等が実施された。



漁業の再生に関する実践的な取組として、島内の魚食推進等を目的とした

捌き方教室の様子

その他にも

- ・新規漁具の試験的活用
- ・水産加工品の作成、販売等が実施された。

事業名	有害水産動植物駆除事業
-----	-------------

総事業費	84 千円
------	-------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	水産業の振興
	基本事業名	漁場環境整備

② 実施 (Do)

事業の意図			種子島漁協の漁業種別水揚げにて3割程度を占める一本釣り漁において、被害の多いサメ駆除を実施し、その被害の抑制を推進する。
事業の実績 と成果	取組内容	サメ団体駆除の実施	
	成 果	サメ団体駆除においては、漁協青壮年部を中心に、団体駆除を1回実施	

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	サメによる漁業被害は継続して続いているが、効果的な駆除ができていないのが課題
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	一本釣り漁で被害の多いサメの駆除において、団体で捕獲に取り組み、被害軽減に向けた活動を行ったが、1回の実施に留まった。 サメの駆除は、生態を十分把握できない中で駆除活動を行うため、直接的な効果が見えにくいという課題がある。 一方、近年サメ被害の声が多く寄せられていることから、引き続き、被害の実態を踏えた駆除の時期・方法等の効果的な取組を行っていく必要がある。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	サメ被害の多い夏に集中して実施
-----------	-----------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	漁協青壮年部によるサメの団体駆除の様子 個人では駆除できない大型のサメを駆除するため、活動を実施

事業名	水産多面的機能発揮対策事業	総事業費	500 千円
-----	---------------	------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	水産業の振興
	基本事業名	漁場環境整備

② 実施 (Do)

事業の意図	資源状況の悪化、魚価の低迷、漁業就業者の高齢化等により水産業においては厳しい状況にある中、資源管理の試験的な取組を行い、漁業者の取組の指針を構築する。	
事業の実績 と成果	取組内容	専門機関への研究委託による藻場の栄養添加試験の実施及び水中の栄養塩濃度の計測調査 沿岸海域の藻の生息状況調査
	成 果	委託調査の結果、栄養添加による効果の兆しは確認できた。 沿岸海域の藻の生息状況を確認できた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	藻場造成の計画において栄養添加を活用し、どのように西之表市沿岸を管理していくかが課題
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	鹿児島大学水産学部等と連携し令和3年度（冬場の成長期に栄養添加）に引き続き、令和4年度においても夏場に於ける藻の着生時期から栄養添加試験を実施し、一定の効果が確認された。藻場の再生は、漁業環境において大きな課題であり、引き続き、継続的な取組を行い、検証を重ねていく必要がある。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	藻場回復に向けた取組の方針を定める。
-----------	--------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	研究機関（鹿児島大学）との協議の様子 栄養添加試験に関する説明及び協議
	研究機関（鹿児島大学）による栄養添加試験と魚力ゴ試験操業に関する報告会の様子

事業名	漁業環境整備事業
-----	----------

総事業費	1,770 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	水産業の振興
	基本事業名	漁場環境整備

② 実施 (Do)

事業の意図	共同利用施設の軽微な修繕及び更新費用等を支援することにより、漁業の経営安定と水産物の安定供給を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	共同利用施設の整備 ・ 浦田小組合の巻上用台車の更新 ・ 種子島漁協の誘導灯の更新 ・ 洲之崎小組合の洗浄機の修繕 ・ 住吉小組合の洗浄機の更新 ・ 上能野小組合の掲示板の更新 ・ 田之脇小組合の巻上用台車の修繕
	成 果	老朽化した共同利用施設の整備を行い操業の効率化を図るとともに、漁港標識等の整備を行い安全対策を実施した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	共同利用施設の整備とともに今後の利用状況を踏まえて修繕、更新等の実施を検討
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	令和4年度は、要望に基づき6件の取組を支援し、施設の機能維持に努めた。共同施設が老朽化する中で、小組合からの要望も多いことから、漁業関係者への制度周知を十分に行い、活用を推進する必要がある。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	実施要望箇所を確認し、優先順位に考慮しながら事業を実施
-----------	-----------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	浦田漁港の漁船巻上用台車の更新を実施した。 総事業費：1,041,220円（補助額：600,000円）



種子島漁業協同組合の管理している誘導灯の更新を実施した。
総事業費：920,832円（補助額：460,416円）



住吉漁港の洗浄機の更新を実施した。
総事業費：547,727円（補助額：332,000円）

事業名	漁港維持補修事業
-----	----------

総事業費	4,802 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	水産業の振興
	基本事業名	漁場環境整備

② 実施 (Do)

事業の意図		適切な漁港施設を維持することで、安心・安全に施設を利用できる。
事業の実績 と成果	取組内容	漁港・海岸施設等の不具合箇所の調査・立会を行い補修を行った。
	成 果	適切な漁港施設を維持することで、安心・安全に施設を利用できるようになった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	各漁港の施設の老朽化が進行しており、補修や改良整備が必要になってきている。また、利用者からの要望も増加している。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	災害の防止及び施設の延命化が図られ経費の削減が見込まれる。また、漁港施設の機能確保図られることから、計画的に実施する必要がある。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	漁港施設の不具合箇所の調査を行い、機能回復を目的として補修工事を行う。
-----------	-------------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	(左) 着工前 (右) 完成

事業名	県単漁港整備（負担金）事業
-----	---------------

総事業費	290 千円
------	-------------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	水産業の振興
	基本事業名	漁場環境整備

② 実施（Do）

事業の意図	漁港施設の機能充実を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	漁港・海岸施設等の不具合箇所の調査・立会を行い補修する。
	成 果	適切な漁港施設を維持することで、安心・安全に施設を利用できる。

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	各漁港の施設の老朽化が進行しており、補修や改良整備が必要になってきている。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	漁港整備に係る負担金で、適正に執行されている。

④ 改善（Action）

2023年度方向性	現時点での予定なし
-----------	-----------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明